

都市計画マスタープラン（現行）

○まちづくりの目標

- 住み続けたい、活力あふれる、みんなのまち — 豊島区
- ・「いきいきとした暮らしと身近なコミュニティが息づく定住都市」
 - ・「交流とにぎわいを育む活力都市」
 - ・「災害に強い安全・安心な都市」
 - ・「環境と共生する快適な都市」
 - ・「地区の個性が輝く都市」

○課題別まちづくり方針

- 1 土地利用の方針
- 2 道路網・交通体系整備の方針
- 3 防災まちづくりの方針
- 4 副都心整備と産業のまちづくりの方針
- 5 住宅・住環境整備の方針
- 6 環境と共生するまちづくりの方針

⇒資料8～9

国・都の上位計画等の方向性を踏まえ不足する視点

- ①公共施設等のストック管理（更新期を迎えつつある既存施設への対応）
- ②低炭素化の具体化（都市づくりにおける低炭素化の具体的な方向性や効果の検討）
- ③超高齢社会対策（活力ある高齢者像の創出など超高齢社会の都市モデルの検討）
- ④多様な主体の参加（公の役割を果たす主体による地域課題解決等の活動環境整備）
- ⑤景観形成（景観法による制度を活用したより実践的な景観形成への取組）
- ⑥防災（首都直下型地震への対策、まちづくりと防災施策を一体的に進める仕組み）

今後の都市政策の方向性

- 1 安全で安心して暮らすことができる社会の実現
- 2 持続可能で、活力の維持・増進が可能な都市のあり方
- 3 人口減少と急速な高齢化等の社会構造の変化
- 4 居住者のニーズやライフスタイルの多様化、高度化
- 5 地球温暖化問題やヒートアイランド問題への対応
- 6 経済成長が低い水準で推移するなど経済産業構造の変化
- 7 緑や生物など自然との共生
- 8 クールジャパン（ソフトパワー重視）

⇒資料10

現状分析や区民意識意向調査を踏まえた豊島区の特性・課題

- 1 高密度で多様な居住者が集住する都市的特性
- 2 利便性の高い都市環境
- 3 少子高齢化の進展
- 4 緑化や温室効果ガス排出抑制などの環境配慮
- 5 地域資源を活かした景観形成
- 6 市街地の防災性の向上
- 7 一部で後退が懸念される都市経済
- 8 高まる住民参加意識

⇒資料5～7

庁内各課へのヒアリングから得られたキーワード

都市再生、防災、交通環境、マンション対策、環境、景観、文化・観光、福祉・健康づくり、既存ストック管理、エリアマネジメント

改定にあたっての基本方針

改定にあたっては、本区の基本構想・基本計画に即し、現行の都市計画マスタープラン等を踏まえた連続性のある計画づくりに配慮するとともに、本区の特性や課題、社会情勢の変化などに留意しながら検討する。

1) 基本姿勢

①生活の豊かさや質の重視

地域の社会的・文化的側面を活かした生活の質の向上や魅力ある市街地の形成による定住化の促進など、豊かで活力ある都市づくりの展開

②地域資源の活用

都市に対する誇りや愛着の基盤となる地域の歴史や文化、自然などの資源を活かした個性豊かなまちづくりの推進

2) 追加・強化すべき視点

①安全・安心の確保

早急かつ総合的な震災対策、都市型水害対策、防犯など安全・安心とコミュニティの課題に対応したまちづくりの展開

③低炭素都市づくり

エネルギー利用の合理化による面的な広がりを持った都市の低炭素化や「みどり」づくりなど自然と人間の共生への率先した取組

④景観形成

景観法を踏まえ、アメニティ形成条例の制度改正等による景観形成の一層の推進

②人口減少・超高齢社会対策

バリアフリー等の視点に加え、健康増進、高齢者の自立支援、少子化対策等による都市政策と福祉政策の連携の推進

⑤ストックの計画的な更新

公共施設等の計画的な維持・管理、老朽マンションストック等の円滑な更新等による持続可能な都市づくりの推進

3) 推進手段・方策

①ソフトとハードが一体となったまちづくりの展開

複雑化するまちづくりの課題に対応するため、関連するソフト面を契機としたハード面からの都市整備の推進

②まちづくりのプロセスの重視

「新しい公共」の考え方を踏まえた多様な主体による地域づくりの推進、まちづくりへの参加意欲の醸成と担い手の育成